

EV・PHVを始めとする次世代自動車の普及に向けて あいち自動車環境戦略2020を推進します

予算額 21,238千円

電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）を始めとする次世代自動車の普及を促進するため、「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、関連事業を推進します。

1 戦略推進費

871千円

「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、大気環境基準の確保とともに、EV・PHVを始めとする次世代自動車の普及促進に向けた啓発事業等を進めます。

2 充電インフラ整備事業費

4,927千円（新規）

県庁に来庁者向けの充電インフラを設置し、EV・PHVの本格普及を支援します。

3 次世代自動車普及促進事業費

2,600千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」の参加者と連携・協働して、EV・PHVのさらなる普及に取り組むとともに、「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」に基づき充電インフラ整備を継続的に促進します。

また、平成25年度末までとなっている本県独自の自動車税の課税免除制度を平成28年度まで延長します。

※「あいちEV・PHV普及ネットワーク」とは
EV・PHVの本格的な普及促進に向け、経済産業省のモデル事業として、平成21年4月23日に関係実施主体と県が協働して設立した組織。団体数：93団体（平成25年末現在）

4 低公害公用車導入費

12,840千円

公用車としてプラグインハイブリッド自動車（PHV）等を導入します。

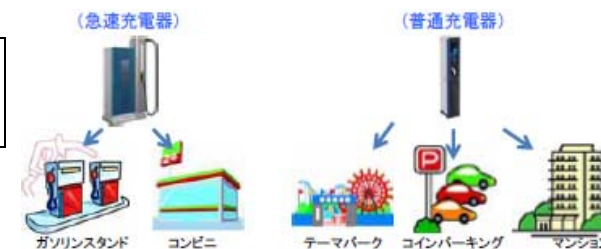


プラグインハイブリッド自動車



電気自動車

【充電インフラのイメージ】



「三河湾環境再生プロジェクト」を推進します

予算額 8,394千円

県民、NPO等団体、市町村及び県が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生プロジェクト -よみがえれ！生きものの里“三河湾”-」として、行動計画に基づき干潟観察会の開催、様々な主体による連携・協働事業の推進、市町村・NPO等の活動支援などの事業を実施します。



干潟観察会の開催 1,027千円(継続)

干潟の生きものや水質浄化機能等を広く県民に周知するため、干潟を観察する「三河湾干潟との触れ合い学校」を開催します。

開催時期:夏頃
開催地:2か所



様々な主体による連携・協働事業の推進等 4,367千円(新規・継続)

○連携・協働事業の実施

・三河湾大感謝祭(仮称)(新規)

様々な主体が集まり、三河湾の環境の恩恵に感謝し、将来について話し合います。

開催時期:秋頃(1回)

開催場所:三河地域

開催内容:ワークショップ、上映会、展示発表

・三河湾環境キャラバン隊(新規)

普段は三河湾に接することのない県民を対象に、ショッピングセンター等の集客施設で三河湾を知ってもらうためのPRを行います。

○連携・協働事業の推進

行動計画の進捗管理を行います。

また、様々な主体に連携・協働事業を働きかけます。

○県内NPO等の滋賀県交流

県内NPO等が滋賀県内で行われる琵琶湖再生イベント等に参加し、NPO等と交流します。

市町村・NPO等の活動支援 3,000千円(継続)

三河湾の沿岸や流域における水質浄化の取組を推進するため、市町村、NPO等の環境活動を支援します。

支援団体:3団体以上
開催時期:春から秋頃
開催場所:三河湾沿岸

活動例

- ・干潟での生きもの観察会
- ・体験活動
- ・海岸清掃
など



伊良湖休暇村公園において砂丘とオアシスを再生し、 先導的な生物多様性の取組を推進します

予算額 53,840千円

伊良湖休暇村公園施設整備費 48,795千円

- 三河湾国定公園内の伊良湖休暇村公園において、かつてこの地域に存在した原風景である砂丘とオアシスを再生し、全国初となる、「花咲く砂丘の園（デューンガーデン）」（仮称）を整備します。10月には原生花園・広場等を含めた観光エリアの一部供用を開始します。

所在地：田原市中山町大松上1

事業期間：平成25年度～平成29年度

整備面積：約5.0ha

供用開始予定：平成26年10月（一部）

- 供用開始に併せ「花咲く砂丘の園（デューンガーデン）」（仮称）の愛称を広く募集します。

生物多様性条約締約国会議理念継承地域づくり事業費 5,045千円

- 全国131の先進的な自治体により構成される生物多様性自治体ネットワークの代表に就任し、総会及び関連イベントを開催して、全国の取組を先導します。

開催時期：平成26年10月24日、25日

内容：生物多様性自治体ネットワークフォーラム（豊橋市内）

伊良湖休暇村「花咲く砂丘の園（デューンガーデン）」（仮称）等へのエコツアー
（田原市）



整備イメージ図



生物多様性フォーラム

大規模災害発生に備えた廃棄物処理体制の構築に向けて 検討・調査します

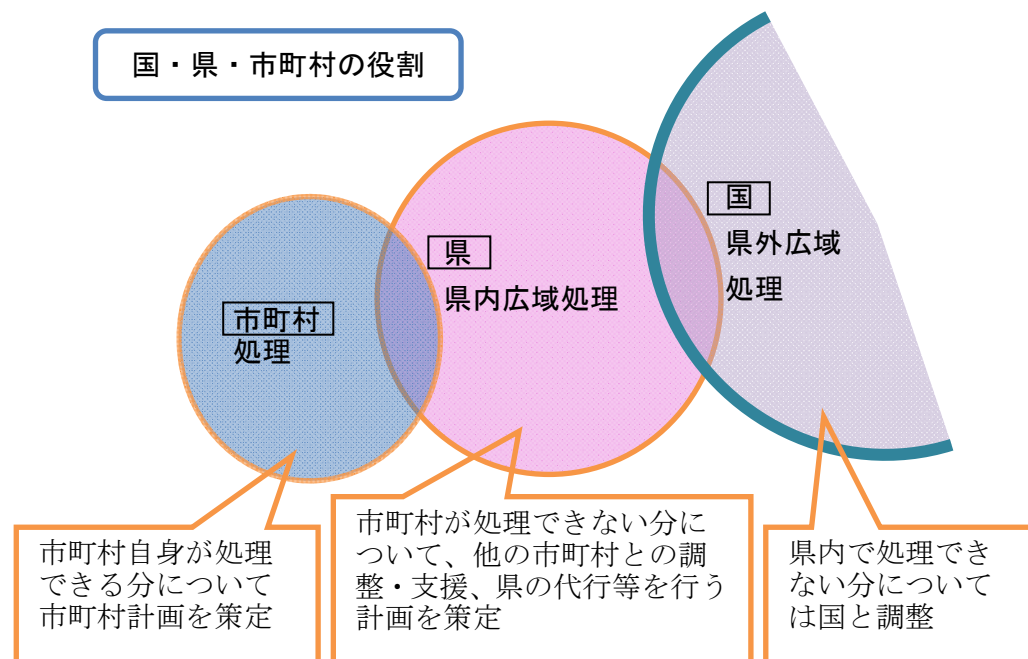
予算額 25,150千円（新規）

大規模災害後の県民生活及び産業活動の早期復旧、復興に寄与するため、災害発生時から速やかに対応できる災害廃棄物の広域的な処理体制を盛り込んだ愛知県災害廃棄物処理計画を平成27年度に策定するための、検討・調査を実施します。

検討・調査内容

災害廃棄物発生量の推計
収集運搬体制、選別・中間処理体制
県内の地域別広域処理体制
仮置場運営、リサイクル方法
住民への情報伝達・発信方法ほか

国・県・市町村の役割

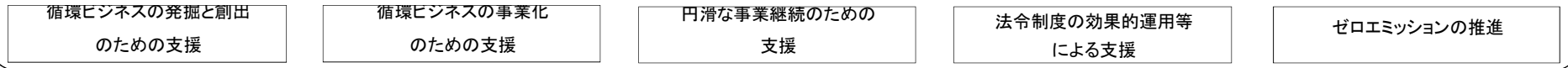


平成26年度循環型社会形成推進事業費予算概要

333,782千円

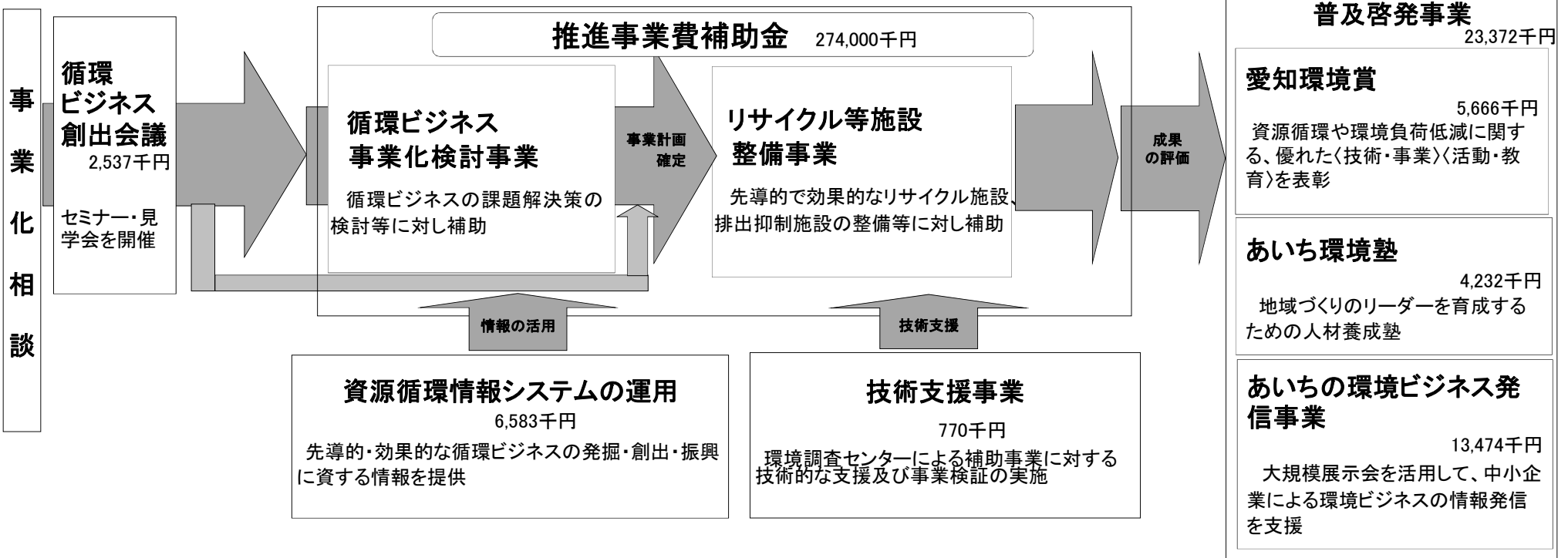
資源循環推進センターの運営 15,134千円

資源循環型社会の形成に向けた、産学行政協の連携・働の拠点(設置場所：西庁舎1階)



エコタウン推進会議 1,600千円

○新・あいちエコタウンプランの進捗状況検証 ○補助採択事業の選考



あいちゼロエミッション・コミュニティ構想事業化推進費 9,786千円

